

1 事業名等(Plan 1)

事業名	医師確保等支援事業											
所属名	市民保健部 医療課 地域医療対策グループ											
第七次総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	分野	5	健康・保健・医療	基本 施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	施策	1	地域医療体制の充実
予算科目	4	1	4	地域医療対策	費	41410	地域医療対策事業費の一部	事業				
					費			事業				
					費			事業				
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市医師確保等支援事業補助金交付要綱、高山市補助金交付要綱											
事業の実施主体	○ 市 市以外→											
事業の実施方法	直営 指定管理 業務委託 ○ 団体等補助 その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	高山市民	受益者数	96,231 人		
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	市民が安心して暮らせるようへき地における医療体制及び救急医療体制の確保と充実を図り、医療スタッフの疲弊を解消する。				
概要	事業の実施手法、手順	市内中核病院の非常勤医の確保に係る支援、及び臨床研修医や看護師募集等への補助金				
概要	事業始期・終期	始期	19 年度から	終期	年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 臨床研修医支援事業の期間延長、院内保育人件費の県の補助基準外部分の追加補助、医療確保支援対象科の増(全診療科)					

【コスト面】

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総合計画計画額(当初)	84,000	84,000	97,000	97,000	97,000
総合計画計画額(計画額)	84,000	84,000	97,000	97,000	97,000
事業費	予算額	84,000	107,000	97,000	
	(計画・予算・見込・決算額)	77,153	102,979		
財源	国庫支出金	予算額			
		決算・見込			
	県支出金	予算額			
		決算・見込			
	地方債	予算額			
		決算・見込			
	受益者負担	予算額			
		決算・見込			
	繰入	予算額			
		決算・見込			
( )	予算額				
	決算・見込				
一般財源	予算額	84,000	107,000	97,000	
	決算・見込	77,153	102,979		
H17国勢調査	96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価		
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%		
コスト	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	802	1,070
コスト	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	2,398	3,201
コスト	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人	802	1,070
コスト	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人		

【成果面】

活動指標	活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)							資料・出展 算出式	単位	人
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			
活動指標	市内中核病院の医師数の目標値							医師数 /		
活動指標	目標値	—	—	124	124	124	124	124		↑
活動指標	実績値	91	93	97						
活動指標	達成率	—	—	78.2	0.0	0.0	0.0	0.0		
成果指標	成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)							資料・出展 算出式	単位	人
成果指標	市民1,000人当たりの医師数							医師数 / 人口1,000人当		
成果指標	目標値	—	—	2	2	2	2	2		↑
成果指標	実績値	1.8	1.8	1.9						
成果指標	達成率	—	—	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

4 分析・評価(Check)

**①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)**

(現状及び判定理由) 市内中核病院における医師等確保に係る経費を補助する事により市民の安心を確保する。

目的評価

A:非常に高い  
B:高い  
C:低い  
D:非常に低い

A

---

**②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)**

該当項目「1」入力(注:平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

減少		維持		増加	1
----	--	----	--	----	---

(判定理由) 市内中核病院における非常勤医を確保するため、補助対象となる診療科を拡大したため、事業費が増加した。

項目

②コスト面

	増加	維持	減少
③成果面	拡大	○	
	維持		
	減少		

---

**③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)**

該当項目「1」入力(注:平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

拡大	1	維持		減少	
----	---	----	--	----	--

(判定理由) 市民1,000人当たりの医師数の増加により医療の環境整備に繋がる。

コスト・成果ポジション

C

第3水準

---

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」 → I 「良い」 良好な水準を維持

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」 → II 「やや良い」 「I」の水準に向けた改善が必要

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」 → III 「普通」 「II」の水準に向けた改善が必要

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」 → IV 「やや良くない」 「III」の水準に向けた改善が必要

目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」 → V 「良くない」 「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

一次評価 主管課

評価区分

III

判断の理由  
常勤医の増加が図られた。

---

**分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点**

依然として医師不足の状態が続いており、特に産婦人科や小児科など特定診療科の医師が不足しているため、今後も継続して支援していく必要がある。

総合評価

コスト	成果	評価区分
高	高	III

判断の理由等  
「II」以上の水準に向けた改善が必要

医師の確保は市民の生命を守り、安心を確保するため必要不可欠な事業である。医師確保・医療スタッフの疲弊解消のため、今年度の改善ポイントの成果等を検証し、更なる効果的な支援について継続的に検討を行っていく必要がある。

---

**5 今後の方向性(Action)**

評価結果に対する改善提案(下記チェック)

現状維持 ■ 改善・継続 ■ 終期設定 ■ 休止 ■ 廃止 ■ 完了

今年度の成果を踏まえ、更に確保に向け改善する。  
医学生奨学金制度の創設について検討する。

活動の方針

次年度の実施方針  
同上